

# 「平成30年7月豪雨災害」に対する 日赤徳島県支部の救護活動について

## ■日赤徳島DMATの活動

7月8日～10日の間、日赤徳島DMAT(災害派遣医療チーム)1チームを愛媛県宇和島市へ派遣し、避難所の状況調査やDMAT活動拠点本部の支援を行いました。



救護資器材を積み込むDMAT隊員  
(7月8日 徳島赤十字病院)



出発前の日赤徳島DMAT  
(7月8日 徳島赤十字病院)



DMAT活動拠点本部会議の様子  
(7月8日 市立宇和島病院)



避難者の声を聞く救護看護師  
(7月9日 JAえひめ南立間中央支所(避難所))

## ■日赤徳島県支部 医療救護班(第1班)の活動

7月12日、避難所での医療救護活動を行うため、医療救護班1班を岡山県倉敷市へ派遣しました。



出発式で決意を語る医療救護班の近藤剛史班長  
(7月12日 日本赤十字社徳島県支部事務局)



倉敷市災害対策本部の様子  
(7月12日 岡山県倉敷市保健所)

日本赤十字社では、発災直後から全社一丸となって被災者の救援救護活動に取り組み、岡山県・広島県・愛媛県を中心に全国各地から救護班やDMATを派遣するとともに、毛布や緊急セット等の救援物資をお届けしました。

# ■日赤徳島県支部 医療救護班(第1班)の活動

7月12日、13日、14日 倉敷市内避難所で状況調査や診療を行いました。



避難者数や衛生環境等の調査を行う救護班  
(7月12日 岡山県倉敷東小学校)



避難者の不安に耳を傾ける看護師  
(7月12日 岡山県倉敷市西小学校)



がれきが積み上げられた倉敷市内の道路  
(7月12日 岡山県倉敷市内:救護班1班撮影)



浸水の爪痕が残る家屋  
(7月13日 岡山県倉敷市真備町)



仮設の診察室で診療を行う近藤剛史班長  
(7月13日 岡山県倉敷市立蘭小学校)



決壊した堤防と修復作業を行う重機  
(7月13日 岡山県倉敷市真備町)



救護所受付の様子  
(7月14日 岡山県倉敷市立蘭小学校)



絶え間ない救護活動のための引き継ぎ会議  
7月15日 日本赤十字社岡山県支部  
奥:徳島県支部救護班、手前:高知県支部救護班

## ■日赤徳島県支部 医療救護班(第2班)の活動

7月21日、避難所での医療救護活動を行うため、医療救護班第2班を岡山県倉敷市に派遣しました。同班は、24日までの間、岡山県倉敷市藺小学校で、診療や避難者の心に寄り添う「こころのケア」などを行いました。また、徳島県赤十字救護・救援奉仕団 河野光明会長が赤十字防災ボランティアとして帯同し救護班のサポートにあたりました。



出発式で決意を語る医療救護班の里村茂子班長  
(7月21日 日本赤十字社徳島県支部事務局)



救護班第2班メンバー10名(手前)河野光明会長  
(7月21日 日本赤十字社徳島県支部事務局)



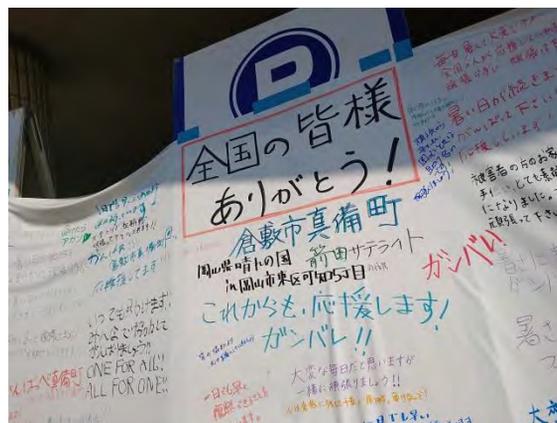
災害対策本部で引継ぎを受ける第2班メンバー  
(7月21日 岡山県備中保健所)



仮設診療所のトレーラーハウス  
(7月22日 岡山県倉敷市立藺小学校)



1階部分が浸水した真備町社会福祉協議会  
(7月22日 倉敷市社会福祉協議会真備事務所)



全国から寄せられる応援のメッセージ  
(7月22日 倉敷市災害ボランティアセンター-箭田サテライト)



避難者の診療を行う里村茂子班長  
(7月23日 岡山県倉敷市立藺小学校)



避難所で、巡回診療を行う看護師  
(7月23日 岡山県倉敷市立藺小学校)